

「第2期健康くるめ21」計画の各評価指標の達成状況

◇「評価区分」の「中間」は平成29年度に実施した中間評価の実績値による評価、「最新」は最新の実績値による評価。

◇「評価区分」の判定方法(A～D)は、以下の要領による。

「中間」・・・計画策定時の「基準値」との比較による判定。

「最新」・・・中間評価後の「基準値」との比較による判定。

※中間評価で目標値を達成した指標(A評価)は、基準値を計画策定時の値から、中間評価の実績値に上方修正している。なお、上記に該当する指標には、基準値の年度(年)に網掛け。

No.	評価指標	評価項目	基準値	中間評価値	最新値	目標値	評価区分	
							中間	最新
【基本方針1】生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底								
(1)糖尿病・循環器疾患の予防								
1	脳血管疾患・虚血性心疾患の年齢調整死亡率の減少(10万人当たり指数)	脳血管疾患 男性	31.7	同左	同左	減少 (H34年度)	A	-
		女性	20.1					
		虚血性心疾患 男性	21.0	同左	同左	減少 (H34年度)	A	-
		女性	7.0 (H27年)					
[達成状況]基準値、最新値ともに中間評価値のため、評価不可。								
2	糖尿病の年齢調整死亡率の減少(10万人当たり指数)	男性	9.1	同左	同左	減少 (H34年度)	A	-
		女性	2.6 (H27年度)					
[達成状況]基準値、最新値ともに中間評価値のため、評価不可。								
3	特定健診・特定保健指導の実施率の向上(40～74歳)	健診受診率	32.3%	34.2%	同左	60.0%	B	
		指導実施率	9.1% (H23年度)	10.9% (H28年度)		60.0% (H34年度)		
[達成状況]基準値より受診率は1.9、実施率は1.8ポイント改善している。 ※最新値は中間評価値と同値。								
4	生活習慣病予防健診の受診率の向上(35～39歳)	—	3.9% (H23年度)	8.3% (H28年度)	11.2% (H29年度)	10.0% (H34年度)	B	A
		[達成状況]目標値を達成している。						
5	メタボリックシンドロームの該当者・予備群の減少	—	28.9% (H23年度)	29.3% (H28年度)	同左	減少 (H34年度)	D	
		[達成状況]基準値より0.4ポイント悪化している。 ※最新値は中間評価値と同値。						
6	糖尿病有病者の割合の抑制(HbA1cがNGSP値6.5以上の者の割合)	—	8.8% (H28年度)	同左	同左	減少 (H34年度)	A	—
		[達成状況]基準値、最新値ともに中間評価値のため、評価不可。						
7	糖尿病治療継続者の割合の増加(HbA1cがNGSP値6.5以上の者のうち治療中と回答した者の割合)	—	51.6% (H23年度)	56.1% (H28年度)	同左	75.0% (H34年度)	B	
		[達成状況]基準値より4.5ポイント改善している。 ※最新値は中間評価値と同値。						
8	糖尿病腎症による年間新規透析導入患者数の減少	—	39人 (H28年度)	同左	同左	減少 (H34年度)	A	—
		[達成状況]基準値、最新値ともに中間評価値のため、評価不可。						

No.	評価指標	評価項目	基準値	中間評価値	最新値	目標値	評価区分	
							中間	最新
9	血糖コントロール指標におけるコントロール不良者の減少(HbA1cがNGSP値8.4以上の者の割合の減少)	—	0.8% (H28年度)	同左	同左	減少 (H34年度)	A	—
		[達成状況]基準値、最新値ともに中間評価値のため、評価不可。						
10	高血圧の改善 (140/90mmHg以上の者の割合)	—	24.3% (H23年度)	21.7% (H28年度)	同左	15.0% (H34年度)	B	
		[達成状況]基準値より2.6ポイント改善している。 ※最新値は中間評価値と同値。						
11	脂質異常の減少(LDLコレステロール160mg/dl以上の者の割合)	男性	9.7% (H23年度)	10.0% (H28年度)	同左	7.0% (H34年度)	D	
		女性	14.1% (H23年度)	15.5% (H28年度)		10.0% (H34年度)		
[達成状況]基準値より男性は0.3、女性は1.4ポイント悪化している。 ※最新値は中間評価値と同値。								
(2)がんの予防								
12	75歳未満のがんの年齢調整死亡率の減少 (10万人当たり指数)	—	85.9 (H22年)	84.0 (H27年度)	同左	74.0 (H34年度)	B	
		[達成状況]基準値より1.9ポイント改善している。 ※最新値は中間評価値と同値。						
13	がん検診等受診率の向上	胃がん	3.9%	4.1%	3.9%	10.0%	B	B
		肺がん	18.2%	19.8%	20.3%	30.0%		
		大腸がん	17.0%	17.9%	17.7%	30.0%		
		子宮頸がん	18.2%	18.2%	18.2%	40.0%		
		乳がん	20.7%	18.8%	16.0%	40.0%		
		前立腺がん	17.2%	18.3%	18.9%	30.0%		
		骨粗しょう症	16.0% (H23年度)	19.1% (H28年度)	18.9% (H29年度)	30.0% (H34年度)		
[達成状況]胃がん、子宮頸がん、乳がん以外は、基準値より改善している。								
14	がん検診精密検査受診率の向上	胃がん	89.8%	91.2%	90.2%	100.0% (H34年度)	B	C
		肺がん	92.1%	90.7%	91.9%			
		大腸がん	77.3%	79.8%	80.3%			
		子宮頸がん	87.0%	88.4%	88.1%			
		乳がん	93.8%	90.8%	92.5%			
		前立腺がん	72.1% (H23年度)	77.6% (H28年度)	69.8% (H29年度)			
[達成状況]全体を通じて、基準値とほぼ変わらない。								
【基本方針2】健康に関する生活習慣の改善								
(1)栄養・食生活の改善								
15	主食・主菜・副菜をそろえた食事が、1日2回以上の日がほぼ毎日の者の割合の増加	—	56.7% (H24年度)	57.5% (H28年度)	52.8% (H29年度)	80.0% (H34年度)	B	D
		[達成状況]基準値より3.9ポイント悪化している。						
16	適正体重を維持している者の増加 (肥満(BMI25.0以上)、やせ(BMI18.5未満)の減少)	20歳代から60歳代男性の肥満者の割合	27.9%	同左	同左	減少 (H34年度)	A	—
		40歳代から60歳代女性の肥満者の割合	16.6%					
20歳代から30歳代女性のやせの者の割合	20.3% (H29年度)							
[達成状況]基準値、最新値ともに中間評価値のため、評価不可。 ※H29年度市民アンケート調査結果。								

No.	評価指標	評価項目	基準値	中間評価値	最新値	目標値	評価区分	
							中間	最新
17	低出生体重児の減少	—	9.6% (H28年)	同左	同左	減少 (H34年度)	A	—
		[達成状況]基準値、最新値ともに中間評価値のため、評価不可。						
(2)身体活動・運動の推進								
18	日常生活の中で意識的に体を動かしたり運動している者 (1日30分以上で週2回以上)の割合の増加	20歳～64歳 男性	33.3%	30.7%	同左	43.0%	D	
		女性	28.5%	22.3%		39.0%		
65歳以上 男性	56.8%	57.9%	67.0%					
女性	52.5%	42.0%	63.0%					
		[達成状況]65歳以上の男性以外は、基準値より悪化している。 ※最新値は中間評価値と同値、H29年度市民アンケート調査結果。						
19	ロコモティブシンドローム(運動器症候群)を認知している市民の割合の増加	男性	8.7%	17.1%	同左	30.0% (H34年度)	B	
		女性	10.8% (H24年度)	25.1% (H29年度)				
		[達成状況]基準値より男性は8.4、女性は14.3ポイント改善している。 ※最新値は中間評価値と同値、H29年度市民アンケート調査結果。						
(3)歯・口腔の健康の維持・増進								
20	歯科健診等の受診率向上	初めての歯の健康教室	72.0%	71.5%	71.1%	85.0%	B	B
		1歳6か月児	74.3%	83.3%	86.5%	85.0%		
		3歳児	72.4%	79.3%	79.8%	85.0%		
		歯周疾患検診	3.6% (H23年度)	3.9% (H28年度)	4.9% (H29年度)	10.0% (H34年度)		
		[達成状況]初めての歯の健康教室以外は、基準値より改善している。						
21	1年以内の歯科健診・口腔ケアを受けた者の割合	—	50.2% (H24年度)	56.7% (H29年度)	同左	65.0% (H34年度)	B	
		[達成状況]基準値より6.5ポイント改善している。 ※最新値は中間評価値と同値、H29年度市民アンケート調査結果。						
22	3歳児でむし歯のない者の割合の増加	—	79.7% (H23年度)	79.4% (H28年度)	80.9% (H29年度)	90.0% (H34年度)	D	B
		[達成状況]基準値より1.2ポイント改善している。						
23	12歳児のむし歯の平均本数	男子	1.3本	1.1本	同左	1.0本未満	B	
		女子	1.6本 (H22年度)	1.2本 (H28年度)		1.0本未満 (H34年度)		
		[達成状況]基準値より男子は0.2、女性は0.4本改善している。 ※最新値は中間評価値と同値。						
24	60歳以上で24本以上の歯を有する者の割合の増加	—	50.1% (H24年度)	47.5% (H29年度)	同左	70.0% (H34年度)	D	
		[達成状況]基準値より2.6ポイント悪化している。 ※最新値は中間評価値と同値、H29年度市民アンケート調査結果。						

No.	評価指標	評価項目	基準値	中間評価値	最新値	目標値	評価区分	
							中間	最新
25	80歳で20本以上の歯を有する者の割合の増加	※75歳以上で20本以上	45.1% (H24年度)	43.5% (H29年度)	同左	50.0% (H34年度)	D	
		[達成状況]基準値より、1.6ポイント悪化している。 ※最新値は中間評価値と同値、H29年度市民アンケート調査結果。						
26	歯周病が全身疾患や妊娠に影響があることを知っている者の割合の増加	—	60.3% (H24年度)	65.7% (H29年度)	同左	80.0% (H34年度)	B	
		[達成状況]基準値より5.4ポイント改善している。 ※最新値は中間評価値と同値、H29年度市民アンケート調査結果。						
(4)禁煙の推進								
27	成人の喫煙率の減少(喫煙をやめたい人がやめる)	—	19.3% (H24年度)	17.9% (H29年度)	同左	14.0% (H34年度)	B	
		[達成状況]基準値より1.4ポイント改善している。 ※最新値は中間評価値と同値、H29年度市民アンケート調査結果。						
28	妊娠中の喫煙をなくす	—	4.2% (H23年度)	3.5% (H28年度)	3.1% (H29年度)	0% (H34年度)	B	B
		[達成状況]基準値より1.1ポイント改善している。						
29	未成年者の喫煙をなくす(20歳代の喫煙者で10歳代から習慣的に吸い始めた人をなくす)	男性 女性	50.0% 35.7% (H24年度)	22.2% 80.0% (H29年度)	同左	0% (H34年度)	D	
		[達成状況]基準値より男性は27.8ポイント改善し、女性は44.3ポイント悪化している。 ※最新値は中間評価値と同値、H29年度市民アンケート調査結果。						
(5)適正な飲酒の推進								
30	生活習慣病のリスクを高める量の飲酒(※)をしている者の割合の減少(※1日当たり純アルコール摂取量:男性40g以上、女性20g以上)	男性 女性	14.4% 8.9% (H24年度)	15.1% 11.4% (H29年度)	同左	12.0% 8.0% (H34年度)	D	
		[達成状況]基準値より、男性は0.7、女性は2.5ポイント悪化している。 ※最新値は中間評価値と同値、H29年度市民アンケート調査結果。						
31	妊娠中の飲酒をなくす	—	0.7% (H23年度)	0.7% (H28年度)	0.4% (H29年度)	0% (H34年度)	C	B
		[達成状況]基準値より0.3ポイント改善している。						
【基本方針3】こころの健康づくりの推進								
(1)休養・こころの健康の維持・増進								
32	ストレス解消法を持っている人の増加	—	51.4% (H24年度)	49.9% (H29年度)	同左	70.0% (H34年度)	D	
		[達成状況]基準値より1.5ポイント悪化している。 ※最新値は中間評価値と同値、H29年度市民アンケート調査結果。						
33	睡眠による休養を十分とれていない者の減少	—	17.5% (H24年度)	19.2% (H29年度)	同左	15.0% (H34年度)	D	
		[達成状況]基準値より、1.7ポイント悪化している。 ※最新値は中間評価値と同値、H29年度市民アンケート調査結果。						

No.	評価指標	評価項目	基準値	中間評価値	最新値	目標値	評価区分	
							中間	最新
(2) 自殺対策の推進								
34	自殺者の減少(人口10万人当たり指数)	—	17.0 (H28年)	17.0 (H28年)	同左	減少 (H34年)	A	—
		[達成状況]基準値、最新値ともに中間評価値のため、評価不可。						
【基本方針4】 個人の健康を支える環境の整備								
(1) 身近な地域での市民主体の健康づくり支援								
35	地域活動(健康づくり)に参加した人の割合の増加	—	14.1% (H23年度)	17.7% (H29年度)	同左	30.0% (H34年度)	B	
		[達成状況]基準値より3.6ポイント改善している。 ※最新値は中間評価値と同値、H29年度市民アンケート調査結果。						
(2) 健康づくりを支えるしくみの充実								
36	健康づくりに関する情報源としての保健所、保健センターの割合の増加	—	3.3% (H24年度)	2.5% (H29年度)	同左	15.0% (H34年度)	D	
		[達成状況]基準値より0.8ポイント悪化している。 ※最新値は中間評価値と同値、H29年度市民アンケート調査結果。						
37	健康や病気に関する相談相手としての保健師や栄養士の割合の増加	—	2.6% (H24年度)	2.9% (H29年度)	同左	10.0% (H34年度)	B	
		[達成状況]基準値より0.3ポイント改善している。 ※最新値は中間評価値と同値、H29年度市民アンケート調査結果。						
【基本方針5】 すべての子どもが健やかに育つ社会環境の整備								
(1) 切れ目のない妊産婦・乳幼児への保健対策の推進								
38	妊産婦死亡を発生させない	—	0人 (H24年)	0人 (H28年)	同左	0人 (H34年)	A	
		[達成状況]目標値を達成している。 ※最新値は中間評価値と同値。						
39	全出生数中の低出生体重児の割合の減少	低出生体重児	9.9% (H24年)	9.6% (H28年)	同左	減少 (H34年)	B	
		極低出生体重児	0.6% (H24年)	0.6% (H28年)				
[達成状況]基準値より改善している。 ※最新値は中間評価値と同値。								
40	妊娠・出産について満足している人の割合の増加	—	78.9% (H27年度)	82.1% (H28年度)	85.0% (H29年度)	90.0% (H34年度)	B	B
		[達成状況]基準値より6.1ポイント改善している。						
41	乳幼児健康診査の受診率の向上	4か月児	96.0%	99.5%	97.6%	100.0% (H34年度)	B	B
		10か月児	92.4%	95.5%	94.5%			
1歳6か月児	94.0%	96.9%	97.3%					
3歳児	92.8% (H26年度)	89.2% (H28年度)	92.9% (H29年度)					
[達成状況]いずれとも、基準値より改善している。								

No.	評価指標	評価項目	基準値	中間評価値	最新値	目標値	評価区分	
							中間	最新
42	子どものかかりつけ医(医師・歯科医師など)を持つ親の割合の増加	医師 4か月児 3歳児 歯科医師 3歳児 66.4%	84.2% 97.1% 66.4% (H28年度)	同左	86.6% 97.0% 67.3% (H29年度)	増加 (H34年度)	A	B
		[達成状況]3歳児(歯科医師)以外は、基準値より改善している。						
43	ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある母親の割合の増加	4か月児 1歳6か月児 3歳児	91.1% 82.9% 80.1% (H27年度)	90.8% 85.5% 80.1% (H27年度)	92.0% 86.6% 81.7% (H29年度)	93.0% 83.0% 82.0% (H34年度)	B	B
		[達成状況]いずれとも、基準値より改善している。						
44	育てにくさを感じたときに対処できる親の割合(4か月児健診、1歳6か月児健診、3歳児健診の平均値)の増加	—	83.9% (H27年度)	82.4% (H28年度)	85.4% (H29年度)	95.0% (H34年度)	D	B
		[達成状況]基準値より1.5ポイント改善している。						
45	子どもの社会性の発達過程を知っている親の割合(4か月児健診、1歳6か月児健診、3歳児健診の平均値)の増加	—	92.0% (H27年度)	92.0% (H28年度)	92.2% (H29年度)	95.0% (H34年度)	C	B
		[達成状況]基準値より0.2ポイント改善している。						
46	発達障害を知っている市民の割合の増加	—	59.7% (H27年度)	67.1% (H29年度)	同左	85.0% (H34年度)	B	
		[達成状況]基準値より7.4ポイント改善している。 ※最新値は中間評価値と同値、H29年度市民アンケート調査結果。						
47	乳幼児揺さぶられ症候群(SBS)を知っている親の割合の増加	—	97.1% (H27年度)	97.6% (H28年度)	97.8% (H29年度)	100.0% (H34年度)	B	B
		[達成状況]基準値より0.7ポイント改善している。						
(2)学童期・思春期から成人期に向けた保健対策の推進								
48	10代の人工妊娠中絶実施率の減少(女子人口千人当たり指数) ※市内医療機関で実施した市民の割合	—	8.3 (H26年度)	7.5 (H28年度)	同左	7.0 (H34年度)	B	
		[達成状況]基準値より0.8ポイント改善している。 ※最新値は中間評価値と同値。						
49	10代の性感染症罹患率の減少	定点1ヶ所当たりの報告数 性器クラミジア 淋病感染症 尖圭コンジローマ 性器ヘルペス	3.00 0.67 0.33 0.33 (H26年)	0.33 0.67 0.00 0.00 (H28年)	1.33 0.00 0.00 0.00 (H29年)	減少 (H34年)	A	
		[達成状況]いずれとも、目標値を達成している。						

No.	評価指標	評価項目	基準値	中間評価値	最新値	目標値	評価区分	
							中間	最新
(3)子どもの健やかな成長を見守り育む地域づくりの推進								
50	この地域で子育てをしたいと思う親の割合(4か月児健診、1歳6か月児健診、3歳児健診の平均値)の増加	—	97.6% (H28年度)	同左	97.6% (H29年度)	増加 (H34年度)	A	C
[達成状況]基準値と変わらない。								
51	マタニティマークを妊娠中に使用したことのある母親の割合の増加	—	52.7% (H27年度)	53.3% (H28年度)	58.1% (H29年度)	70.0% (H34年度)	B	B
[達成状況]基準値より5.4ポイント改善している。								
52	マタニティマークを知っている市民の割合の増加	—	60.6% (H29年度)	同左	同左	増加 (H34年度)	A	—
[達成状況]基準値、最新値ともに中間評価値のため、評価不可。 ※H29年度市民アンケート調査結果。								
53	積極的に育児をしている父親の割合(4か月児健診、1歳6か月児健診、3歳児健診の平均値)の増加	—	54.2% (H27年度)	59.4% (H28年度)	61.6% (H29年度)	60.0% (H34年度)	B	A
[達成状況]目標値を達成している。								
54	乳幼児のいる家庭で、風呂場のドアを乳幼児が自分で開けることができないよう工夫した家庭の割合の増加	—	43.9% (H27年度)	43.7% (H28年度)	46.2% (H29年度)	50.0% (H34年度)	D	B
[達成状況]基準値より2,3ポイント改善している。								